

122号

# 広報 しんち

4月1日現在  
( )内は前月比

男	1,990世帯 (+1)
女	4,364人 (-6)
合計	4,486人 (-23)
	8,850人 (-29)

56/5



## わたしたちの町づくり ④

### 三若会（城内）

結成四年目を迎えたばかりの三若会、城内地区の東部、三班の若い人達でつくっている親ばくの会である。この地区の戸数は十二軒うち四軒が転入者で、同じ地区に住んでいながらも、話をしたこともないといったことを解消しようと、同地区的阿部孝さんらが中心となって結成したものである。

会員は二十代から五十代までの九名。会では毎月第一土曜日に月例会を開き、今後の活動などを決定しているが、親ばくを深めるといった目的から、新年会や花見さらには旅行といったことが主だという。また、会の活動を地域に還元しようと、時には道路補修の奉仕作業なども行っている。

月例会では、はじめに「おうたい」が行われるが、会発足当初、何か目的をと習いはじめたもので、当初ウナリとしか聞こえなかつた「おうたい」も、今では会員の呼吸もピッタリだ。

役員は一年交代の順回りで行われるが、会員としての自覚と責任をそれぞれに持たせることと、あいさつの仕方、話の進め方の勉強にとの考え方から行っていることだ。

最後に、この会が外に誇れるものはと聞いてみたが、「団決」との答えが返ってきた。この会を取材して、「団決」のことばが示すように、確かに会員の世代を超えた仲間意識には感心させられた。こうした会のまとまりは、会の方針を決定するまでは、会員自らが意見を出し合い議論して決定し、その決定に従うといった会の進め方の徹底があるからこそという。ときには議論が二～三時間と夜遅くまで続くこともあるそうだが、会員の欠席はほとんどない。







